

# Chorus Ohyama 合唱団おおやま

95年8月に旧大山町民を中心に結成。  
96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。以来、毎年夏に  
オーケストラとの共演による公演を重ね、今回が18回目の演奏会となる。  
富山市大山文化会館で、毎週水曜日夜7時30分から、練習を行っている。

<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

合唱団おおやま

合唱団おおやまでは、団員を募集しています。  
初心者大歓迎。随時、練習の見学を歓迎します。  
お問合せは富山市大山文化会館(076-483-0001)まで。

## ソプラノ

飯田 三千代  
岩竹 幸絵  
岡本 洋子  
熊倉 理子  
谷崎 千紗  
谷崎 千鶴  
千葉 多恵  
津田 玉美  
山崎 忍

## アルト

麻島 利子  
井上 澄子  
岡本 祀子  
岡本 智子  
桶谷 道子  
奥野 知子  
片山 美富里  
木村 まゆみ  
五井 礼子

小島 久美  
高木 茂子  
仲井 葉子  
中川 律子  
早水 淑子  
原田 栄子  
平崎 康子  
村椿 伸子

## テノール

飯田 泰三  
井内 学  
岩田 篤司  
廣野 正和  
牧 重和  
三羽 康嗣  
山崎 勝幸

## バス

上田 慎一  
上野 友二郎  
庄司 俊雄  
谷崎 修一  
野入 豊光  
丸山 隆

## Orchestra Ensemble Kanazawa オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年、世界的指揮者、  
故岩城宏之が創設音楽監督  
(現在、永久名誉音楽監督)  
を務め、多くの外国人を含  
む40名からなる日本最初の  
プロの室内オーケストラと  
して石川県と金沢市が設立。  
石川県立音楽堂を本拠地と  
し、世界的アーティストと  
の共演による年20回の定期  
公演や、北陸、東京、大阪、  
名古屋での定期公演など年  
間約110公演を行っている。  
2013年夏、シュレスヴィヒ  
=ホルシュタイン音楽祭(ド  
イツ)、エストニアにて16度  
目となる海外公演を実施。  
設立時よりコンポーザー・  
イン・レジデンスを実施、  
多くの委嘱作品を初演、CD  
化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオー  
ケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、  
エイベックスなどより90枚を超えるCDを発売。07年1月より、指揮者の井上  
道義を新音楽監督に迎え、新たな活動を展開。今年、設立25周年を迎える。



## 合唱指揮 内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒 ミュンヘン国立音楽大学卒。  
シューベルトの三大歌曲集等ドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。  
藤原歌劇団公演のオペラやメサイア、ベートーベン第九など数多くの  
コンサートに出演。  
1993年再度一年間ドイツに留学。  
合唱団おおやま、入善混声合唱団、男声合唱団「ジョイフル・フレンズ」、  
北アルプス混声合唱団、黒部第九を歌う会、  
大地の会 女声合唱団うたごえサークル等の指導  
声楽研究グループ大地の会主宰  
元武蔵野音楽大学声楽科講師  
元洗足学園魚津短期大学声楽家講師  
富山県上市町にて内山音楽教室を主宰

## ピアノ 村上 麻理

洗足学園音楽大学ピアノ専攻卒業。同大学  
専攻科修了。黒田素子、増田真理子、マックス・  
エッガー、横山幸雄、加藤徹の各氏に師事。  
1991年~1996年富山広域圏文化交流事業  
クラシックシリーズ・富山テレビクラシックシ  
リーズにてソロリサイタル出演。  
1998年~2001年新バダベスト弦楽四重奏団  
とシューマン「ピアノ五重奏曲」を共演、日本・ポーランド国交樹立80  
周年記念。  
コンサートショパン物語出演、ルビンシュタイン弦楽四重奏団とピアノ  
五重奏曲を共演。また、室内楽、歌曲、管楽器等の伴奏でも活躍してい  
る。2005年立山町音楽協会招待音楽会で「とやまレディーズ・オーケ  
ストラOASIS」とモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。2012年NHK富  
山の朗読会に女性キャスターとコラボレーションで演奏。  
2005年富山県芸術文化協会奨励賞表彰。現在、富山県立保育専門学  
院非常勤講師・ミヤコ楽器店ピアノ科指導講師・富山県ピアノ指導者協  
会委員・合唱団おおやま・立山町合唱団コロパストラールピアニスト。



# Orchestra Ensemble Kanazawa with Chorus Ohyama 2013

## 第18回演奏会 オーケストラ・アンサンブル金沢 with 合唱団おおやま 定期公演

と き / 2013年 8月 24日(土) 14:30 開場 15:00 開演 ところ / 富山市大山文化会館  
〔主催〕(財)石川県音楽文化振興事業団、富山市、「オーケストラ・アンサンブル金沢 with 合唱団おおやま定期公演」実行委員会 〔共催〕北日本新聞社 〔後援〕FMとやま



助成:文化芸術振興費補助金  
(トップレベルの舞台創造事業)

## 1 寺山修司の詩による6つのうた 思い出すために

- [1] かなしみ 作詩 寺山 修司 作曲 信長 貴富
- [2] てがみ
- [3] 世界のいちばん遠い土地へ
- [4] ぼくが死んでも
- [5] 思い出すために
- [6] 種子

## 2 ポピュラーソング

- [1] 翼をください 作詞 山上 路夫 作曲 村井 邦彦 編曲 渡辺 俊幸・谷崎 修一
- [2] さんぽ(「となりのトトロ」オープニングテーマ) 作詞 中川 季枝子 作曲 久石 譲 編曲 和田 薫・谷崎 修一
- [3] Believe(「生きもの地球紀行」エンディングテーマ) 作詞・作曲 杉本 竜一 編曲 榎原 栄・谷崎 修一
- [4] Stand Alone(「坂の上の雲」メインテーマ) 作詩 小山 薫堂 作曲 久石 譲 編曲 福嶋 頼秀・谷崎 修一
- [5] 大地讃頌(混声合唱のためのカンタータ「土の歌」より) 作詩 大木 惇夫 作曲 佐藤 眞

## 3 ジークフリート牧歌 Siegfried-Idyll

作曲 リヒルト・ワーグナー Richard Wagner

## 4 混声合唱、ソプラノソロと小編成オーケストラのための Requiem Pacis

レクイエム・パーチス 作曲 佐藤 賢太郎(Ken-P)

- [1] Requiem Aeternam et Kyrie レクイエム・エテルナム～キリエ
- [2] Sanctus サンクトゥス
- [3] Agnus Dei et Lux Aeterna アニウス・デイ～ルクス・エテルナ
- [4] Subvenite スブヴェニテ
- [5] In Paradisum イン・パラディズム

1 寺山修司(1935～83)の鮮烈な6つの詩に人気作曲家の信長貴富(1971～)が曲をつけている。2002年に女声2部合唱で作曲された。

詩人の詩作における心の葛藤が語られる「かなしみ」。月夜の海に流された「手紙」。大切な思い出をみんなまとめて今すぐ忘れてしまいたい、「思い出すために」。繰り返し「種子」をまくことができるか」と問いかける相手とは? 鮮明な情景や豊かな情感、はっとさせる鮮烈な結末。いずれの詩も、聞くものに強いイメージを想起させる。

この詩につけられた曲も、飛び跳ねるピアノが印象的な「かなしみ」、幻想的な「手紙」、力強い男声ユニゾンで始まり、転調によって目くるめく世界の広がりを見せる「世界のいちばん遠い土地へ」、シャンソンのようなしなやかな曲「ぼくが死んでも」、軽快なテンポとリズムの「思い出すために」、短調で始まる優しい曲「種子」、どの曲も個性的ですてきな音楽になっている。

2 このステージの曲は、オーケストラ・アンサンブル金沢が学校訪問などで演奏したポピュラーソングを、今回の演奏会のために混声4部合唱に編曲し直したものである。フォークソングの定番である「翼をください」から、最近のヒット曲である「Stand Alone」まで、いずれも現在もよく歌われる曲ばかりである。

「翼をください」は、1971年、赤い鳥(ボーカルはのちのハイ・ファイ・セットの山本潤子)の「竹田の子守唄」のB面で発売された。

「坂の上の雲」は、司馬遼太郎原作で、2009年から2011年の3年間にわたり、各年末に放送されたNHKのスペシャルドラマ。

「大地讃頌」は、ポピュラーソングではなく、合唱組曲の中の1曲である。合唱コンクールや卒業式などで歌われる定番の曲だったので、ご存知の方も多だろう。去年、富山で開催された全日本合唱コンクールの全国大会でも、閉会式で全員合唱された。この曲は、通常はピアノと合唱で歌われるが、元々は1962年にオーケストラ版で作曲されている。生命の源となる土、母なる大地を讃(たた)える壮大な曲である。

3 リヒルト・ワーグナー(1813～83)の室内オーケストラのための交響詩である。この曲は、ワーグナーの2人目の妻コジマへの誕生日の贈り物として、1870年に作曲された。その前年、長男ジークフリートを生んだ愛妻に対する感謝の気持ちを込めて書き上げたもので、コジマの誕生日である同年12月25日の早朝に、スイスのルツェルン湖畔にあったワーグナー邸の階段で初演された。この贈り物を事前に知らされていなかったコジマは大喜びしたとのこと。

ジークフリートというのは、ワーグナーのオペラ「ニーベルングの指環」の主人公の名前でもあるが、この曲は、オペラの中の音楽ではなく、独立したオーケストラ曲である。

4 佐藤健太郎(Ken-P ケンピー 1981～)は、2008年までロサンゼルス・ハリウッドで主にテレビ・映画・ゲーム音楽にオーケストラやジャズを主体とした音楽を提供する作編曲者・指揮者として活躍。現在は日本在住。

この曲は、Ken-Pがアメリカの大学に在学中の2005年に学士課程卒業リサイタルのために作曲された。題名にある「Pacis」は「平和の」という意味。Ken-P自身の言葉によれば、「私たちの前を歩んだ人のこと、そして私たち自身とこれから歩む道を、明るい光で照らす」「優しい、明るい、または力強い歌詞と曲調で構成された」レクイエム(死者のためのミサ曲)である。この曲では、通常使われるLibera Meの代わりにSubveniteが挿入されている。また、Agnus Dei以外は長調で書かれている。どの曲も優しい、あるいは力強いメロディと、不協和音をふんだんに含む美しい和音がちりばめられている。



## 山下 一史(指揮)

84年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。86年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

85年～89年までカラヤンのアシスタントをつとめ、急病のカラヤンの代役をジーンズ姿で務め話題となる。以降、ヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)首席客演指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者を歴任。また、02年より大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を務め、08年4月より同団名誉指揮者に就任。06年より仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」、リムスキー=コルサコフ「シェエラザード」のCD制作を行うなど積極的な活動を展開。09年4月から12年3月まで同団正指揮者を務める。

09年4月にはサンクトペテルブルク交響楽団定期に出演し、大成功を収めた。また、11年2月にはシューマン「ゲノフェーファ」日本舞台初演を行うなど、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。

## 山本 有希子(ソプラノ)

高岡市出身。武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。大学内選抜コンサート、卒業演奏会に出演。二期会第47期オペラストゥーディオ・マスタークラス修了。在学中、ウィーンに留学し研鑽を積む。第1回モーツァルトコンクールin芦屋、声楽部門第1位。第14回高槻音楽コンクール、奨励賞受賞。第22回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール、入選。第24回奏楽堂日本歌曲コンクール、歌唱部門第3位。高岡文化ホール主催オペラ「フィガロの結婚」スザンナ役、富山市民文化事業団主催オペラ「班女」(初演作品)花子役、金沢・射水・坂井三都市提携公演によるオペラ「電話」ルーシー役など、いずれも主演を務め好評を博す。宗教曲では、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、ベートーベン「第九」、ロッシニ「小荘厳ミサ」の各ソリストを務める。文化庁主催「本物の舞台芸術体験事業」では二期会のメンバーとして、北海道から九州まで100公演以上におよぶ小・中・支援学校での公演に出演し、オペラやミュージカルなどを披露する。

また、母校である高岡市立成美小学校創立130周年記念コンサート、富山県立福岡高校創立30周年記念コンサートを行うほか、富山県内の小・中学校を訪問し、音楽鑑賞会などを行っている。また、震災をきっかけに、全国各地のチャリティコンサートに積極的に参加している。2004、2006年にはジョイントリサイタルを、2009年には「高岡開町400年記念メモリアルコンサート」と題してソロリサイタルを行う。東京二期会会員。さいたま市在住。

